

【南木曽町】 1人1台端末の利活用に係る計画

2025年3月

項目	内容
①1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿	一律一様の教育から「個別最適な学び」への転換と多様な他者との対話や協働による「協働的な学び」の一体的な推進により、一人ひとりが多様な幸福を追求し、新しい価値やよりよい社会を創造する力を育むことができるよう南木曽町では、1人1台の配備により、子ども一人ひとりの習熟の程度に応じて学習、協働的な学習活動の一層の充実、主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善、教育環境のアップデートを図り、1人1台端末を活用した「新たな学び」と持続可能な学習システムの構築を目的に、これまで以上に多様性を尊重しつつ、ICTを活用しながら、学校ならではの協働的な学び合いや、実社会と関わる課題を社会との関わりの中で解決する探究的な学びを大切に「南木曽町の学び」の実現を目指す。
②GIGA第1期の総括	GIGA第1期では、1人1台端末及び校内ネットワーク環境の整備を行うとともに、学習デジタルドリル、デジタル教材、学習者用デジタル教科書等を導入し、ICTを活用した授業の推進・研究を進め、GIGAスクール構想の推進を図ってきた。
③1人1台端末の利活用方策	【1人1台端末の活用】 1人1台の端末環境の継続的な維持目的に、ICT支援員の配置を継続し、ICT活用の各種支援や授業実践事例等の蓄積・情報共有や研修会を行い、端末の積極的な利活用を推進する。 【個別最適・協働的な学びの一体的な充実】 これまでも行ってきた学習支援ソフトを活用した授業に加え、引き続き継続導入していく。授業支援ソフトウェア等を校内及び家庭学習で活用することにより、学習履歴など教育データを活用した個別最適な学びを充実させる。また、学習の仲間との「調べる」「発表・表現する」「やりとりする」という授業場面に応じて端末の活用を進め、個別最適・協働的な学びの一体的な学びの充実を図る。 【学びの保障(臨時休業等の緊急時・不登校対策・特別支援教育・外国人児童生徒)】 学校において、「誰一人取り残さない学びの保障」に向けて、不登校等により、長期欠席をする児童・生徒に対して授業配信等の検討を行い、GIGA第2期においても、日常の授業で端末を効果的に活用することはもちろんのこと、不登校や特別支援、日本語指導など、様々な困難を抱える児童・生徒に対する支援として、多様な場面でICTを活用していく。